

許すな!安倍政権の暴走...日本共産党は「対決」対案「共同」で闘い対

展望

NO. 182
 (発行)
 日本共産党
 神戸製鋼委員会
 (連絡先)
 (住所)
 神戸市兵庫区新
 開地3-4-20
 (電話)
 078-577-6255
 (FAX)
 078-577-2240

悪政の暴走にストップを!

初春のあつらひに身をまかせ

安倍政権の暴走が止まりません。

○**来年度の政府予算案**↓「社会保障と財政赤字削減のため」と云っていた消費増税増税分が、大企業の減税・大型公共事業と軍事費増加の財源へ。

○**秘密保護法**↓政府が何でも自由に秘密ににして、情報の入手を懲役刑などの厳罰に。民主主義と人権を危うくし、アメリカといっしょに「戦争する国」を目指す。

○**TPP**↓アメリカの圧力で、コメなどの関税がなくなり、日本の農業や食料が守れなくなる恐れも。

○**エネルギー基本計画**↓福島島の災害に目をまわらぬ、核廃棄物の最終処分目途がない原発を、「基盤となる重要なベース電源」と位置づけ、再稼働へ。

○**沖縄**↓悠久の美ら海「辺野古」への新基地建設で沖縄の基地負担を永久化。

○**安倍首相の靖国参拜**↓歴史逆行の本性があらわになり、韓国・中国、「同盟国」のアメリカやロシア・EUからも批判。これら暴走の一つひとつが国民の批判を受け、内閣支持率は急落しています。

なぜ安倍政権はみんなの嫌がることばかりするのか? 自民党はもと「アメリカ」や「大企業」のために奉仕する政党です。だから嫌がられても、国民の意に逆らった暴走を繰り返すしかないのです。この暴走を止めるには、怒りの声を上げ、選挙で政権から追いつ落とすしかありません。

新年にあたり、日本共産党はこの古い自民党政治と対決し、対案を提示し、広範な国民と共同して、政治の転換を目指して奮闘することを改めて約束いたします。

秘密保護法はこんな危険な法律です

昨年12月に強行採決で成立した「特定秘密保護法」に対しては、アニメ作家宮崎駿や俳優大竹しのぶ・藤原紀香を始め多くの方々から反対を表明し、反対デモも日に日に大きくなりました。

秘密にしたい外交や防衛の情報はあっても、けれども人権を侵害し、厳罰で国民を

威嚇してまで保護すべきではありません。反対の広がりに慌てた安倍首相は「一般の方巻き込まれることはない」と必死にこまかしています。果たしてそうでしょうか。

神鋼でも、特定秘密に指定される可能性の高い、軍事や原発関連(使用済み核燃料の輸送キヤスクなど)に従事する社員と関連会社や派遣の社員の、本人・家族・親戚等の多数の人が適正評価対象者として、プライベートが徹底的に調べ上げられ、たとえ酒席でうっかり漏らしても処罰されかねません。

日本共産党は、今年の通常国会に「秘密保護法廃止法案」を提出します。廃止の声を更に高めていきましょう。



13年12月19日の三宮デモ

今でしょ! 緊急施策解除と賃上げ

新年を迎え、いよいよ春闘交渉が始まります。今年の4月から消費税が5%から8%に上がることで、消費が減り、景気が冷え込むことが確実視されています。いまこそ国民の懐を直接温めて、内需を喚起し日本経済を活性化することが求められています。

計画以上の業績改善が見込まれる神鋼では、緊急施策解除だけでなく、賃上げも期待されます。神鋼労組の上部団体である基幹労連も「6年振りのベア要求、2年間・月3500円ずつ」と報じられています。賃金ベースが上がってこそ、将来設計が確かなものになり、金を使おうかという気にもなります。内需が回復すれば、会社の業績回復にも確実に貢献します。神鋼経営者のそういう社会的責任の自覚に立った決断を要求します。

読者の未来を照らす しんぶん 赤旗

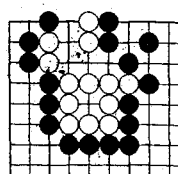
日刊3400円 日旺版800円



2014.01

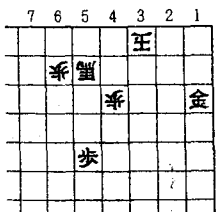
みなさんの声をお寄せください。情報源はキッチンと守りますので、ご安心ください。その声に応じて、会社や労働組合に働きかけていきます。
 TEL: 078-577-6255 Fax: 078-577-2240 メール: info@jcp-shinko.jp ホームページからも送れます (http://www.jcp-shinko.jp)。

詰碁



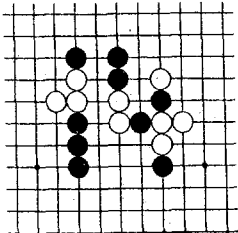
十段 結城 聡
黒先 うまく攻めてきた
さす。(10分30秒)

詰将棋



七段 伊藤 果
一三金を生かします。
持駒 飛金金
(10分30秒)

詰連珠



八段 岡部 寛
黒先 四の連続で勝ちま
す。(10分30秒)

職場川柳

- ☆ 新党は 年末恒例 風物詩
- ☆ デモの声 なんとかせいと 秘密法
- ☆ 高炉止め 中身言わずに アンケート

この申し入れに対して、組合からは「多くの批判が上がり、反省している」との口頭による回答があったそうです。労働組合の生命である団結を阻害する「特定政党支持押し付け」を止めさせるために、更に職場から声を挙げていきましょう。

神戸製鋼所労働組合 御中

「政策実現活動に関するアンケート」の中止を求める申し入れ

日頃の活動、ご苦勞様です。

さて、7月の参院選の結果を受けた基幹労連名の「政策実現活動に関するアンケート」が10月末から職場に配布され、その後一か月で記入・回収するスケジュールで取り組まれています。

アンケートを見た組合員から、「何だこれは、思想調査か」「郵便番号で誰だかわかってしまう」「組合が民主党を推すこと自体、問題だ」など、「アンケート」そのものへの批判とともに民主党への支持押し付けへの怒りの声が挙がっています。

このアンケートは、次に述べる問題点を抱えています。

① 「比例代表選挙の投票をしたか」「投票しなかった理由」「とどろき」と記入したか
 「とどろき」と記入した理由、記入しなかった理由」などを問うています。

これらは投票の内容を一人ひとりの組合員に回答させるというもので、憲法で保障されている基本的人権の柱である「投票の秘密」「思想信条の自由」を侵害する思想調査そのものです。

② 組合員一人ひとりの政党支持・思想信条は自由であり、違いがあるのは当然のことです。労働組合とは、この違いを超えて一致する要求実現のために団結し闘うのが本来の姿です。そこに特定政党支持を持ち込むと、団結と要求実現に大きなマイナスとなります。ましてや、公約を裏切り国民の願いに背を向けた民主党支持は更に許せません。今回のアンケートは、相変わらず民主党の支持を押し付けていることに一片の反省もなく、今後もそれを継続し強化するという立場からなされており、組合運動に有害と云わざるをえません。

なぜ、このような、誰が見ても大きな問題を感じる非常識なアンケートが、まるで何のチェックもされていないかのように、流されてくるのか、大きな疑問です。

私たち神鋼労組神戸支部の組合員二名は、神鋼労組が、組合員一人ひとりの思想信条の自由を守り、思想信条の違いを超えて一致する要求実現のために団結すべき労働組合本来の姿に戻ることを願う立場から、以下の申し入れをします。12月16日(月)までに文書で回答ください。

1. 「政策実現活動に関するアンケート」を集めることを直ちに中止すること。
2. すでに集めたアンケートは直ちに廃棄し、アンケートの集計などのアンケート活動全体を直ちに中止すること。
3. 基幹労連にアンケート活動の中止を直ちに求めること。
4. 組合活動に有害な特定政党支持=民主党支持押し付けをやめ、特定の候補者への支持の押し付けも止めること。

2013年11月26日

神鋼労組神戸支部 池水 昇・中尾正樹

「はがねの会」有志が
 「基幹労連アンケート」中止を申し入れ！
 昨年一二月、「はがねの会」の二人が、基幹労連の「アンケート」中止を求める申し入れを行ったと聞き、ご両人の了解を得て、左記に掲載します。